

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、「**夢と活力ある農家・地域社会の実現**」のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の満足度向上を目的とした事業展開を図り、農業と地域に貢献できる地域金融機関として「より便利でより安心な」JAバンクをめざし、「信頼される」JAを徹底的に追求した活動」をするための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

阿蘇農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえ、お客さまの多様なニーズにお応えできるもの、且つ幅広い商品を揃えながら一定の厳選された商品数に絞り、分かりやすく選びやすい商品を選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

<商品選定の考え方>

長期投資を前提とし、運用実績・運用体制・将来性が良好であり、手数料が良心的な水準であること。
コア・サテライト戦略に基づき守りと攻めに分けて運用すること。

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

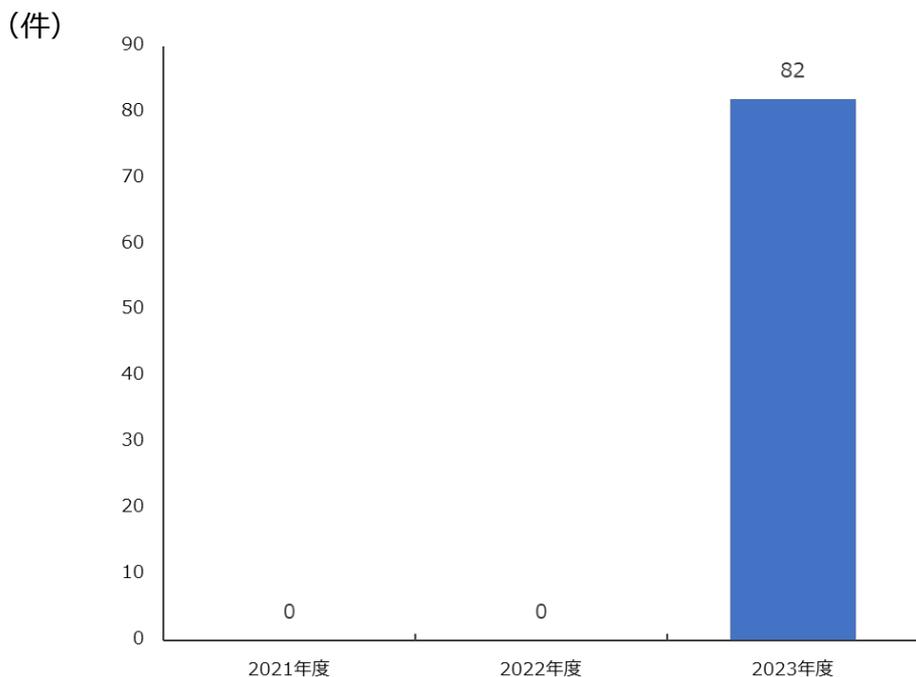
I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供①

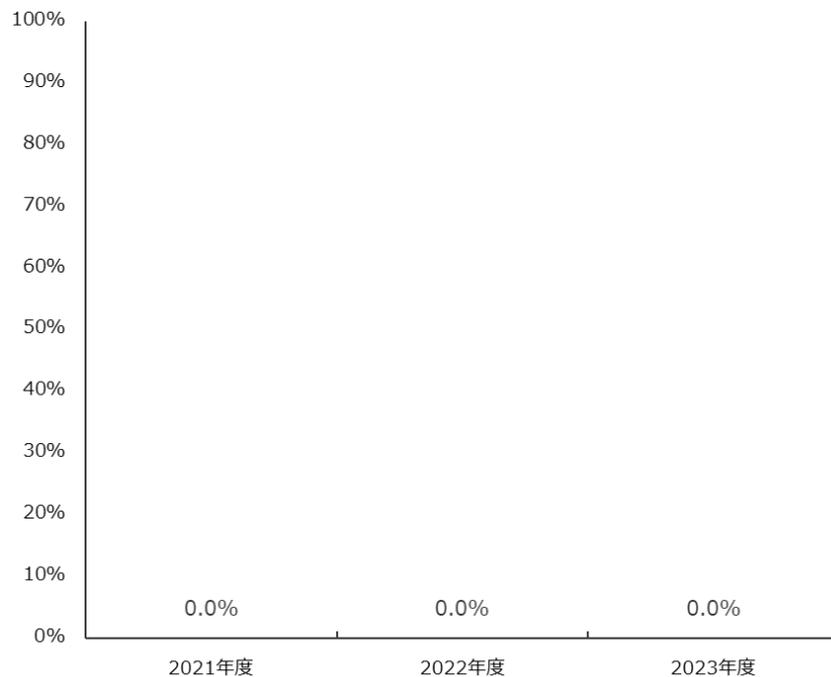
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- 組合員・利用者の皆様のゆとりある将来のために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、投資目的・リスク許容度・ニーズに合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しております。
- 「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率は0%です。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



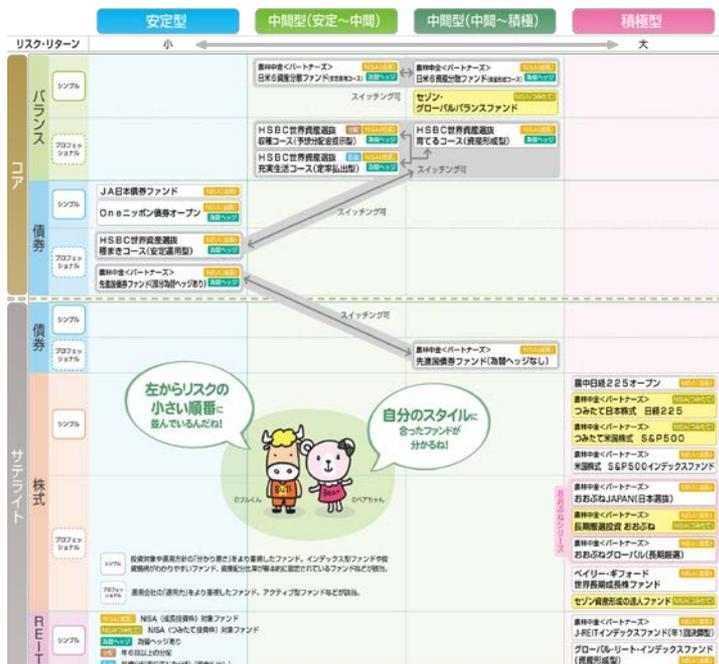
I. 取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

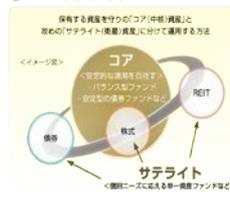
【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、「資産ガイダンス」や「資産運用スタイルシート」を活用し、どのお客さまに対しても分かりやすく商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について明確かつ誠実にご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、「JAバンクセレクトファンドマップ」、「NISA（つみたて投資枠）」等を活用のうえ丁寧に分かりやすく情報提供を実施しました。
- なお、当JAは重要情報シートを導入しております。

JAバンクセレクトファンドマップ



コア・サテライト戦略について



JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資商品を選定しました。

- 1 長期投資：長期投資を前提とした投資商品であること
 - 2 手数料：手数料が低水準であること
 - 3 運用実績：過去の運用実績が相対的に良好であること
 - 4 特長性：資産組成に、適度に分散化を及ぼす投資商品であること
 - 5 運用体制：運用体制について、外部機関の評価が好ましいこと
- あなたに合った長期投資商品に最適な商品を見つけています。

あなたにオススメのファンドは？

〇重視するのは？

- 分散投資でリスクを抑えながら安定的に運用したい
- 成長が期待できる株式に投資して積極的に運用したい

〇投資する地域は？

- 国内
- 米国
- 世界中

スタート

JAバンクでは、金融庁が定めた（一定の）条件を満たしたうえで、特に長期の積立投資に適した商品を選定して取り揃えています。

NISA（つみたて投資枠） 金融庁が定めた一定の条件を満たし、長期の積立・分散投資対象となる商品は？

投資の条件

- 〇償付期間が無期または20年以上
- 〇お申込手数料が無料
- 〇分配頻度が毎月でない
- 〇運用管理費用（信託報酬）に上限があり低コスト
- 〇投資の対象商品に株式を含む
- 〇金融庁へ届出がされている 等

毎月1万円ずつ、国内株式型積立ファンド、先進国株式型積立ファンドに、20年間積立投資した場合の積立総額

積立総額 240万円

リターンシミュレーション

※2003年10月1日時点の運用実績を基にシミュレーションしたものであり、実際の運用実績とは異なる可能性があります。

セゾングローバルバランスファンド

投資目的：長期分散投資。国内・海外株式・債券をバランスよく投資する。長期にわたって運用する。積立投資に適した商品です。

投資期間：長期

投資地域：国内

投資対象：株式

投資頻度：毎月

投資手数料：無料

投資条件：金融庁が定めた一定の条件を満たし、長期の積立・分散投資対象となる商品は？

投資の条件

- 〇償付期間が無期または20年以上
- 〇お申込手数料が無料
- 〇分配頻度が毎月でない
- 〇運用管理費用（信託報酬）に上限があり低コスト
- 〇投資の対象商品に株式を含む
- 〇金融庁へ届出がされている 等

毎月1万円ずつ、国内株式型積立ファンド、先進国株式型積立ファンドに、20年間積立投資した場合の積立総額

積立総額 240万円

リターンシミュレーション

※2003年10月1日時点の運用実績を基にシミュレーションしたものであり、実際の運用実績とは異なる可能性があります。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

組合員・利用者の皆様の利益が不当に害されることのないよう、利益相反管理方針に基づき、当 J A 全体の管理体制を統括するための利益相反管理統括部署を設置し、利益相反の恐れのある取引を特定および利益相反管理を実施するとともに、その有効性を適切に検証しております。

以下の観点で、利益相反のおそれのある取引を類型化し遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。

1. お客さまと当 J A 等の間が利益が相反する類型
2. 当 J A 等の「お客さまと他のお客さま」との間が利益が相反する類型

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

適正に業務遂行できるよう法令諸規則等遵守の責任体制を確立、内部管理体制を強化し、定期的なモニタリングを実施し、指導・助言を積極的に行い、お客さま本位の業務運営を実現します。また、商品が多様化し、運用スキームも複雑かつ専門的になっており、「適合性の原則」に沿ってその商品の特性や内容をお客さまに十分ご理解いただけるよう、外務員・FP 資格取得を推奨し、eラーニング受講や各研修会への参加・定期的な勉強会により高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成しております。

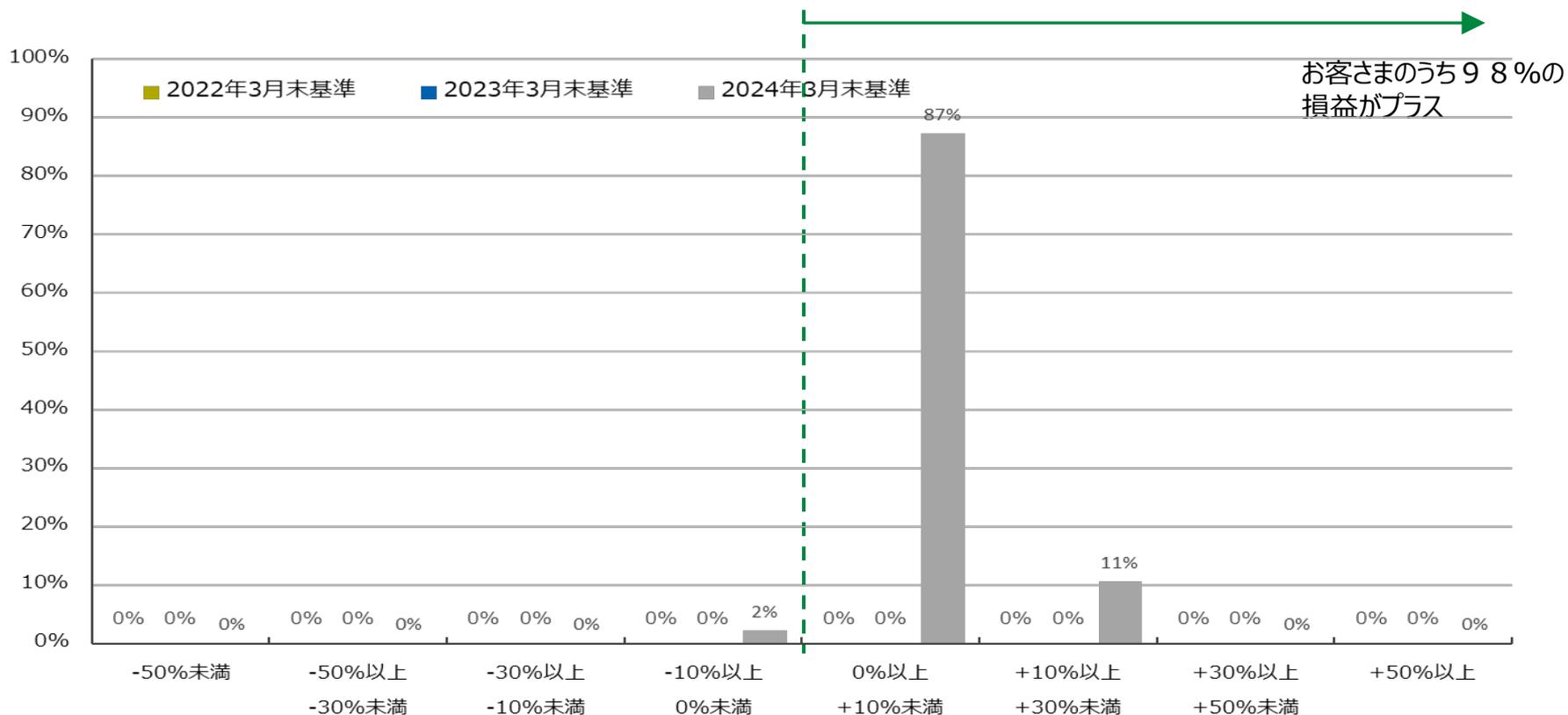
お客さまお一人お一人に寄り添い、お客さまとの対話を重視し、正確で良質な情報提供を心掛け、いただいたご意見や苦情等に速やかに対応できるよう体制を構築しました。

令和6年9月現在 eラーニング受講・各研修会参加 延べ人数 57名

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ資産形成の必要性を説明し、「長期・分散・安定」型投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の98%のお客さまの損益がプラスとなりました。



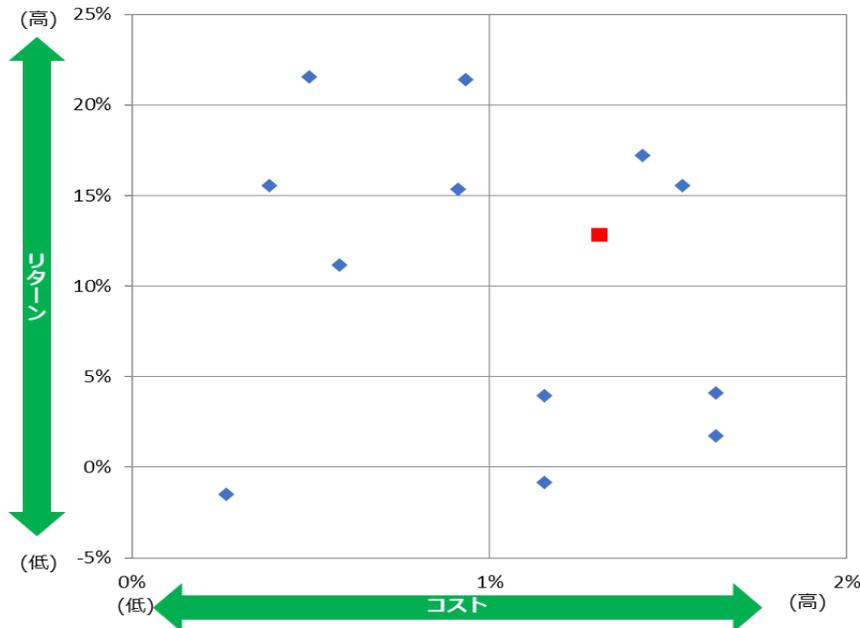
Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

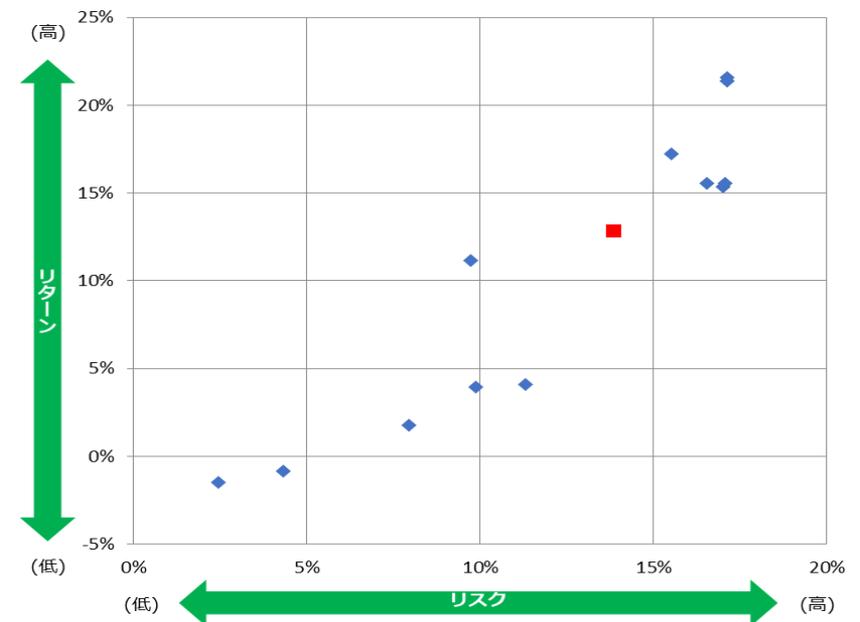
(2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 当 J Aにおいて、2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.31%、平均リスク13.85%に対して、平均リターンは12.85%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

(2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
2	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
6	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
8	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
12	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		12.85%	13.85%	1.31%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は12本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。